

動学マクロ経済モデルを用いた国土構造と 災害脆弱性の関係性についての分析

石井 良治 ・ 遠藤 壮一郎 ・ 福田 大輔

一般財団法人 計量計画研究所

東京工業大学大学院

東京工業大学大学院

我が国は世界的に災害リスクの高い国土である。ひとたび巨大災害が大都市圏で発生した場合、その影響は国全体に及び国力の衰退をもたらしかない。そのような観点から、現状の一極集中型国土構造の問題点が指摘されている。本研究では、空間的・時間的に災害の影響が広く波及してしまう状態を災害脆弱性が高い状態と呼ぶこととし、国土構造と災害脆弱性の関係について知見を得ることを目的とする。災害の特徴をより正確に捉えるため、確率的な多地域動学マクロ経済モデルを構築し分析に用いる。構築したモデルについて数値計算を行った結果、より望ましい国土構造は社会厚生と災害脆弱性の観点からでは異なる可能性があること等が示唆された。

キーワード：災害脆弱性，国土構造，動学マクロ経済モデル